

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員に応じたスペースが十分に確保できている。活動に応じて、空間を分ける等の配慮もできている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			適切な配置数は、確保できている。言語聴覚士・作業療法士・保育士・発達障がい者専門員と専門職をそろえている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			車いす利用の方も利用できるように、スロープなどを設置し、バリアフリー化に配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			基本的に、全職員で会議を行うようにし、業務改善を図っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者からの貴重な意見を参考にできるようにしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内の研修や施設外研修に参加している。できるだけ研修会には積極的に参加できるように、業務の調整等も行い、研修の伝達なども必ず行うようにして、スタッフの質の強化に努めていきたい。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況を把握し、子どもや保護者のニーズに応じた計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			子どもの状況を専門分野からもアセスメントしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間で話し合いながら、行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			それぞれの専門分野を生かした活動プログラムを設定し、子どもたちの飽きがこないように考慮している。ST、OT、保育士の役割を決め、利用者のニーズに応じたより良い支援や活動プログラムを考え実施していきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			その日の状況に応じて、スケジュールを設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々の状況に合わせた支援ができるように工夫している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			前日の支援を振り返り、職員間で話し合っ、役割を分担している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援の振り替りを行い、次の支援につなげるための打ち合わせを行っている。

17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日、記録を付け、職員間で、共有している。
----	--	---	--	--	-----------------------

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			職員間、関係機関と、モニタリングを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			どういった支援が必要かを検討し、活動を提供している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			関係機関と情報共有できるように児発管が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校とも定期的に情報共有を行い、適切な支援が提供できるようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			現在、医療的ケアを必要としている児はいないが、そのような場合は体制を整えたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			利用前に情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			開所して間もないので、これからはスムーズに情報提供できるよう努めていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センターへ施設支援をお願いしたり、相談会で助言を求めている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在は行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	法人内のスタッフが、出席はしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者へ状況を伝え、自宅での様子を伺うようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・プログラム等の支援を行っているか	○			毎年、地域の保護者や、いきいきっ子等利用中の保護者へペアプロの研修会を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用前・移転時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			できる限りお応えできるように努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				今後計画し、実施していきたい。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情などがあった場合には、迅速に対応できるように準備をしていきたい。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、お便りにて、日ごろの様子や活動内容を発信している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			十分注意している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々の特性に応じて、配慮している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在、行っていない。	
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルは作成しているが、保護者への周知は、不十分なところもある。4月に保護者に対して文書でお知らせする等の対応を検討している。
		39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に一回訓練を行っている。BCP、安全計画についても訓練、計画の見直しを定期的に行う。消防署見学や災害時の避難場所の視察等も取り入れ、ご利用児に興味関心を持ってもらいながら進めていく。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人で研修会をおこない、適切な対応ができるようにしている。全職員で虐待防止マニュアルの確認を定期的に行っている。	
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	そのような場合には、検討し計画に記載していきたい。	
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	保護者との聞き取りで対応している。	
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットを記入し、会議で振り返りをしている。	